

■支部活動の報告

【1】平成28年度 柑芦会 支部活動

①東京支部今後の予定

10/15(土) 平成28年度柑芦会東京支部総会&懇親会開催

東京支部総会&懇親会を下記の通り開催致します。

今年も「皆で作る東京支部」として懇親会幹事団を各期持ち回りで務める事になり、今年度は大学28期が当番となっています。若者も多く集まる『世代をつなぐ東京支部総会』を合言葉に、「楽しい」「役に立つ」「参加意識をもてる」総会を目指し、運営いたします。皆様お誘い合せの上、是非ご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 日 時 : 平成28年10月15日(土)10:00受付開始、 10:30 ~ 14:30
2. 会 場 : 損保会館2階大会議室(裏面地図をご参照:JR御茶ノ水・秋葉原、地下鉄淡路町、小川町ほか)
東京都千代田区神田淡路町2-9 (電話)03-3255-1299
3. 会 費 : 5千円(新卒者:大64期は無料、卒業後10年以内の若手:大54~63期および女性会員は4千円)
4. プログラム 10:30 支部総会開始
10:40 講演会 テーマ「世界経済・日本経済の今後と和歌山大学経済学部の教育」
講 師 : 和歌山大学経済学部長 足立 基浩 様
12:00 懇親会スタート 大学28期幹事団開会宣言、来賓挨拶、乾杯、歓談 etc.
各種催し(会員による音楽会:クラシック~懐かしの青春ソング、近況報告、寮歌斉唱 etc.)
14:30 閉会

②柑芦会・秋季ゴルフ会・日程&場所、ご案内

柑芦会・東京支部・ゴルフ会の皆様へ

さて、皆様に秋季ゴルフ会の日程案をご案内し、ご回答を集約した所、11月15日(火)と16日(水)が11名と同数で最も多かった日でありました。本千葉CCに9時台の空き状況を確認した所、16日は既にどのコースも一杯で予約が取れなく、15日は未だ続けて取れる、と言うので、連続予約の条件から11月15日(火)をプレイ日と決定致します。他の日をご希望された方は、もしご調整が可能であれば、御参加の検討を宜しくお願い致します。

改めて、この日程での御参加の可否について、御面倒をお掛けしますが、メールにてご返信をお願い致します。予約枠は4組(16名)と多めにとっておりますので、最終締めの日10月半ばまでは回答をお待ち致します。

<ご案内>

1. プレイ日 11月15日(火) スタート 9:16 西コース~東コース、現地入場依頼 8:20迄に。
2. 場所 本千葉カントリークラブ (〒266-0014 千葉市緑区大金沢町311、TEL.043-292-0191)
3. アクセス (電車) JR.蘇我駅(内房線)下車、クラブバスあり。東口から8:00発~約15分でゴルフ場着。
(車)京葉道路・蘇我IC~約5Km
4. 費用 (1)プレイ費 ¥9,500(セルフ・昼食付・税込)
(70歳以上の方は、ゴルフ利用税 ¥750免除にて、免許証・保険証など証明書のご持参&提示方)
・・・各自カウンターに支払方。
(2)会費 ¥2,000円/人(パーティ費・賞品代)・・・幹事に支払い方。

ゴルフ会幹事: 19期 田井利昭 (TEL.080-5469-0312)

■和歌山大学関連

○【お知らせ】平成29年度和歌山大学大学院経済学研究科修士課程 一般入試・社会人特別入試・私費外国人留学生特別入試について

和歌山大学大学院経済学研究科では、第1回目の一般入試・社会人特別入試および私費留学生特別入試による学生募集を実施いたしました。募集人員計30名のところ、36名の方が出願くださいました。なお、試験は、9月15日(木)に面接による試験を行います。また、合格発表は、9月30日(金)に本学経済学部掲示板及び大学のホームページにて発表いたします。(7月トピックスの社会人特別入試のタイトルが平成27年度になっていました。正しくは平成29年度であり、訂正とお詫びを申し上げます。)

○【お知らせ】クリエ13年目の初優勝！和歌山大学ソーラーカープロジェクト

クリエ(協働教育センター)のソーラーカープロジェクトが、2016年8月6日(土)に「鈴鹿サーキット」で行われた「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2016」に出場。午前中に行われました4時間耐久レースにおいて、「エンジョイIIクラス」で優勝いたしました。総合でも2位でした。6年連続優勝している強豪チームを終了間際に抜き去り優勝するという、劇的な展開でした。

(参照:<http://www.wakayama-u.ac.jp/news/2016081000028/>)

○【ご案内】平成28年度ホームカミングデーの開催について

和歌山大学では、平成28年10月22日(土)に、大学キャンパス内において、「第6回大学ホームカミングデー」を開催いたします。プログラムの詳細が掲載されましたので、以下アドレスにて改めてお知らせいたします。多数のご参加をお待ちしております。(参加費無料)

和歌山大学HP【<http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/>】参加申込は10月7日(金)まで。

今回は、和歌山地域および南大阪地域における地域活性化の中核的拠点を目指す大学として、アグリビジネス教育、地方創生推進事業(COC+)の取組、わかやま農業と食農総合研究所活動についてご紹介いたします。

○【お知らせ】経済学部の就職率ランキング掲載について

サンデー毎日8月14・21日合併号にて2016年学部系統別実就職率ランキングが出され、経済学部は実就職率93.2%となり、経済系で全国12位(国立大学では5位)でした。

(実就職率=就職者÷(卒業(修了)者数-大学院進学者数)×100で算出)

○和歌山大学ソーラーカープロジェクトが4時間耐久のエンジョイIIクラスで初優勝

ソーラーカーの性能などを競う国際格式レース「FIAオルタナティブ・エナジー・カップ ソーラーカーレース鈴鹿2016」(8/6、鈴鹿サーキット)で、和歌山大学ソーラーカープロジェクトが4時間耐久のエンジョイIIクラスで初優勝、総合でも2位。



太陽光でモーターを動かして走行する電気自動車でレースに参加している和歌山大の「ソーラーカープロジェクト」が、8月6日に三重県の鈴鹿サーキットで行われた「FIAオランダタイプ・エナジー・カップ・ソーラーカーレース鈴鹿」でクラス優勝を果たした。日本最大規模のレースを6回目の挑戦で初めて、制したメンバーは、来年の連覇を目指して早くも意気込んでいる。

和 大 ソ ー ラ ー カ ー V

480kg以下のソーラーパネルを使用した18歳以上の大学生・社会人チームが、4時間で全長約5・8kmのコースでどれだけ周回を重ねられるかを競う「エンジンオイルクラス」。和歌山大の「それいけ☆みかん号」(全長4m、全幅1・5m)は同クラス全14台の中でトップの成績だった。ソーラーカーはバッテリーの残量を考慮しつつ走る必要があるが、電力消費量を抑えるために急加速や減速をほとんどしないなど、一般の自動車レースとは異なる戦略が必要となる。

「それいけ☆みかん号」はアルミニウム製の車体に発泡スチロールの外装をかぶせ、自動車用バッテリー6個を搭載

▲優勝した「和歌山大ソーラーカープロジェクト」と、レース車両の「それいけ☆みかん号」提供写真

日本最大規模レース 技術習得、戦略重ね

載した3輪自動車で、部員たちが溶接などの技術を学び、300万円以上の費用と約2年の歳月をかけて完成にこぎつけた。

昨年はレース前の調整がうまくいかず7位。今年はその反省から、外装を改良して表面の凸凹をなくし、空力性能を高めた。また白浜町の旧南紀白浜空港跡地などで走行練習を重ねて本番に挑んだ。

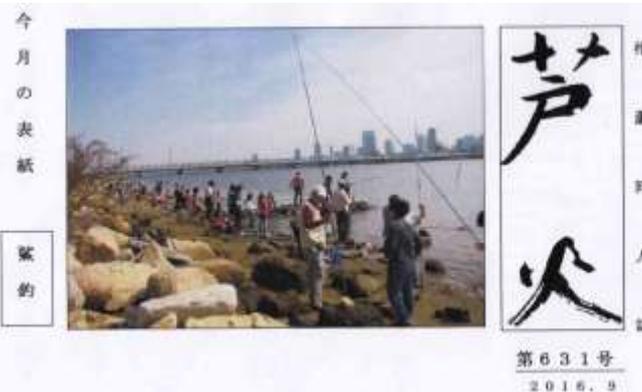
フリー走行の結果、8月6日の決勝で和歌山大はクラス4番手からスタート。序盤で首位に立ったものの、加速しすぎで中盤は順位を落とし、順位を守りながら走り抜けた。しかし、その後はペース配分を守る走行に徹したことが奏功し、減速する他の車両を次々に抜き去ると、終了5分前に首位に返り咲き、栄冠をつかんだ。

車両製作のアドバイザーを務めた紀北工業高の藪下能男教諭は「溶接や旋盤などをやった事がない学生たちが、技術を習得して努力を重ねた結果。本当によくやってくれました」とたたえた。プロジェクト代表の請川遼さん(20)(シズテム工学部3年)は「1年間の苦労が報われた。今年こそコースを45周したが、運転技術を磨き、来年は50周を目標にしたい」と意欲を見せる。

●俳句の会「芦火」第631号 平成28年9月1日号

「今月の表紙」 鯨釣・鯨

普通、内湾のまはぜは 20cm内外。体は、上下に扁平、頭と口が大きい。泥砂の河口にすこぶる多い。ハゼ釣りのハゼは真鯨で本鯨ともいう。各地に棲息し、産卵を終わったものも秋になると肉がつきまくる。貪欲な魚で川口や海岸で面白いように釣れるので、最も大衆性がある。彼岸の中日に釣ったものは中風に効くという。ムツゴロウも鯨の仲間。天婦羅にしても旨い。家族連れでも楽しめる大衆性がある。



第631号 高得点句

起重機の鉄のほひや油照

純一

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？ 和歌山大学図書館に「芦火」句集が配架しています。発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

■大学5期の北道子様、エッセー『多事彩々』を発刊、柑芦会に贈呈して頂きました

北様は、平成8年から、姫路市立生涯学習大学校の「エッセー入門」を受講され、卒業後地元のエッセークラブ「播磨エッセイストクラブ」で創作活動を続けてこられ、2015年(平成27年)にクラブ員の合同エッセー集『ひとを恋ふ』に出稿され、この欄でご紹介させていただきました。

今回は、個人のエッセーを、という周りからの後押しと、予てから抱いておられた、「エッセーで自分史、家族史を」という熱い思いを実現されました。激動の昭和初期に生まれ、軍国主義の時代から敗戦を通じて、平和と民主主義の生育過程を見守ってこられた筆者ならではの感性が、いたるところに滲み出た作品です。

尚、北様は柑芦会の俳句同人「芦火」のメンバーとしても活躍されておられます。

※ご希望の方は、柑芦会本部に閲覧をお申し込みください。

柑芦会本部(和歌山大学経済学部同窓会)事務局:穂永様

〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207号

Tel:06-6941-4986 E-Mail: honbu@kourokai.com



「多事彩々: 昭和九年生まれの伝言」

<http://goo.gl/f8t4Oc>

■和歌山大学 産学連携・研究支援センター

○「第6回おおた研究・開発フェア」に和歌山大学は出展します。

10月6日(木)、7日(金)東京都大田区の大田区産業プラザで開催される「第6回おおた研究・開発フェア」に和歌山大学が出展します。

Aブース(大)では尾崎先生とシンクランド株式会社が「半導体ナノ材料である量子ドットを使った、医療イメージング用近赤外広帯域光源」について、パネル展示、開発機器展示、技術資料配布と説明などを行います。

Bブース(小)では産学連携・研究支援センターのブースで、奥野先生の「高電気伝導性をもつポリジアセチレンの開発」、八木先生の「軽量の農業用パワーアシストスーツの開発」、天野先生の「ゲーム用ヘッドセットを用いた頭部生体信号に基づく個人適応型表情認識」のパネル展示、技術資料配布と説明などを行います。

○和大産研センター活動カレンダー

産学連携・研究支援センターの最近の活動と活動予定を掲載しています。

詳細はこちらをご覧ください。<http://www.wakayama-u.ac.jp/chiiki/mm2/cd.pdf>

◆. 技術相談受付～

和歌山大学産学連携・研究支援センターでは積極的に企業の皆様からの技術相談に対応します。

和歌山大学で対応が難しい場合はMOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)の産学連携機関に登録している32大学と連携して、対応可能な研究者をご紹介します。近隣の府県の研究機関(公設試)でも技術相談を受け付けています。研究・開発的要素のあるものは大学に向いていますが、単なる測定などは、むしろ公設試が適しています。そのような事案については公設試を紹介して問題解決に当たります。

詳細はこちらをご覧ください。<http://www.wakayama-u.ac.jp/chiiki/index2.html>

■わかやま関連Information

① 和歌山大学南紀熊野サテライト(田辺市)受講生募集

大学卒業者及び18歳以上向けの講座について受講生を募集しています。

・開講科目

【大学卒業向け講座】社会と情報通信システム、現代中国経済特殊問題

【18歳以上向け講座】紀州郷土学、地域暮らしの健康学、地域づくり戦略論

・募集締切日(定員有り)

【18歳以上向け講座】平成28年9月15日(木)

※詳細はこちら <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryu.php?sid=23623>

②和歌山のまちなかでカヌー体験！

和歌山市の城下町に流れる歴史ある堀(川)を使い、9月11日(日)にカヌー体験をポポロハスマーケットと同時開催することになりました！町の中の大事な川への関心を高め、川を中心としたまちづくりの一步を踏み出します。和歌山ならではの笑顔あふれるまちづくりをしたい！

詳しくはこちら <https://readyfor.jp/projects/popolohas>

③『徳川吉宗公と赤坂』講演 東京・赤坂

徳川吉宗と赤坂は、深い関わりがあります。今年は、吉宗公が将軍に就任し、300年という慶祝の年にあたります。これを機に、吉宗公と赤坂のつながりについて、江戸の祭り研究家の滝口正哉氏の講演、俳優の松平健さんや吉宗公出身の紀州から和歌山市長を来賓に招いて吉宗公について語られる予定です。

日時:9月17日(土)10時～11時30分

場所:赤坂地区総合支所区民ホール

☆電話でのお申し込みが必要です。

※詳しくはこちら <http://www.hikawadashi.or.jp/akasakahikawasai2016/>

④和歌山県連携講座 松下幸之助シンポジウム IN 明大アカデミー

和歌山県に生まれた松下幸之助。尋常小学校を中退し、わずか9歳で単身、丁稚奉公に大阪へ出た彼は、後に「松下電器産業(現パナソニック)」という世界的企業を一代で築き上げます。日本社会の大転換期に、独自の理念と先見性を持って経営に臨んだその生き様は、経営の神様とも称され、多くの人に多大な影響を与えました。亡くなって四半世紀以上の時が流れても、今なお幅広い世代に感銘を与え続ける「松下幸之助」という人物に光をあて、その精神を改めて多くの皆様に知っていただくため、シンポジウムを開催します。

■会場:明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン3階 アカデミーホール

■開場:2016年12月17日12:30

■料金 無料

※詳しくはこちら <https://academy.meiji.jp/course/detail/3331/>

文・編 47期 中川貴照

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

電話:03-3366-3680(柑芦会専用)平日9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

FAX:03-3369-3469(共用番号)柑芦会東京支部宛と記載願います。

e-mail: tokyo@kourokai.com